

主催：山梨県富士山科学研究所  
後援：富士山火山防災対策協議会・富士吉田市・日本火山学会・日本測地学会（予定）

参加費  
無料

申込み  
不要

同時  
通訳付

どなたでもご参加いただけます

山梨県富士山科学研究所  
国際シンポジウム 2018

# 火山モニタリング観測と火山活動予測

10月8日（月・祝）

10:00～16:00

（開場 9:30）

富士吉田市民会館

小ホール

山梨県富士吉田市緑ヶ丘 2-5-23

火山学者が発信する火山に関する情報はどのようにして得られ、  
どのような意味があり、どれくらい確からしいのか。

このような火山情報を避難に活かすために、私たちはどうすればいいのか？を  
考えるきっかけとして、シンポジウムを開催します。

# 山梨県富士山科学研究所 国際シンポジウム 2018 プログラム

日時：2018年10月8日（月・祝） 10:00-16:00 会場：富士吉田市民会館 小ホール  
司会進行：吉本充宏（山梨県富士山科学研究所）

10:00-10:05	開会の挨拶
10:05-10:10	趣旨説明 本多 亮（山梨県富士山科学研究所）
<b>第1部 火山モニタリング観測と火山活動予測</b>	
10:10-10:30	講演1「富士山はどんな噴火をしてきた火山なのか、 地質学的なアプローチからわかっていること」 高田 亮（(国研)産業技術総合研究所 研究員）
10:30-10:50	講演2「富士山の地下構造」 青木陽介（東京大学 地震研究所 助教）
10:50-11:10	講演3「水蒸気噴火を地殻変動データから読む～北海道雌阿寒岳～」 高橋浩晃（北海道大学 地震火山研究観測センター 教授）
11:10-11:30	講演4「静穏火山における噴火準備過程－蔵王山総合観測の成果から」 三浦 哲（東北大学 地震・噴火予知研究観測センター 教授）
11:30-12:00	講演5「観測に基づく情報発信 ：火山災害の軽減に向けたインドネシアの現状と問題、そして挑戦」 Wiwit Suryant（インドネシア ガジャ・マダ大学 教授）
12:00-13:00	昼 休 憩
13:00-13:40	講演6「富士山頂における絶対重力観測 －その学術的・技術的意義と地震・火山観測への展開」 大久保修平（東京大学 地震研究所 教授）
13:40-14:40	講演7「ハワイ・キラウエア火山2018年噴火の複合的な火山災害 ：危機対応と観測所の役割」 Christina Neal（USGS ハワイ火山観測所 所長）
14:40-14:55	休 憩
<b>第2部 パネルディスカッション</b>	
14:55-15:55	観測・監視による噴火活動の推移予測の難しさとはどのようなものであるか 現時点で様々な観測項目にどの程度の検知能力があって、どのような難しさがあるのか コーディネーター 藤井敏嗣（山梨県富士山科学研究所 所長） パネリスト Christina Neal（USGS ハワイ火山観測所 所長） Wiwit Suryant（インドネシア ガジャ・マダ大学 教授） 三浦 哲（東北大学 地震・噴火予知研究観測センター 教授） 高橋浩晃（北海道大学 地震火山研究観測センター 教授） 西島 潤（九州大学工学研究院 准教授） 青木陽介（東京大学 地震研究所 助教）
15:55-16:00	閉会の挨拶

※講演タイトルは変更になる場合があります。

お問い合わせ先